



2025 年 6 月 27 日
東京製鐵株式会社

当社田原工場の全製品における環境主張（ECV）認証を取得

～第三者機関である米国 UL 社より再生材含有率 96%以上を認証～

当社は、2025 年 6 月付で、田原工場で製造・販売する全製品について、米国に本部を置く国際的な第三者機関である UL 社より、環境主張（ECV：Environmental Claims Validation）認証を取得しました。

今回の認証では、田原工場で製造される 6 種類の製品（ホットコイル、縞コイル、酸洗コイル、カットシート、角形鋼管、スラブ）において「再生材含有率 96%以上」が確認されました。当社の製品は主原料として 100%鉄スクラップを使用し、製鋼工程では成分調整等を目的として少量の副原料を使用しています。本認証の取得により、当社の環境配慮型製品に対する信頼性と透明性が、国際的にも裏付けられることとなりました。

当社は 100%鉄スクラップを主原料とした電気炉技術を通じ、老廃スクラップを再資源化するアップサイクル型のものづくりに長年取り組んでまいりました。当社は、高品質な薄板製品を 100%鉄スクラップの主原料から製造する世界的にも珍しい電炉メーカーであり、資源循環と脱炭素の両立を実現する取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

近年、欧米を中心に「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の重要性が増す中、日本国内でも資源循環の重要性が益々高まっています。当社は、こうした社会的要請に先んじて対応を進めており、今後も製品の環境価値の“見える化”と脱炭素・循環型鋼材である電炉鋼材の普及に向けた取り組みを加速してまいります。

【ECV とは】

「ECV：Environmental Claims Validation」とは、企業が主張する製品やサービスの環境特性について、独立した第三者機関が科学的・客観的に検証を行い、その正当性を証明する制度です。国際的に認められた環境主張の裏付け手段として、多くの業界で活用が広がっています。



・環境主張（ECV）認証ロゴ
（例）田原工場ホットコイル